

## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名：西九州自動車道 一般国道497号 伊万里道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 九州地方整備局		
起終点：起点：佐賀県伊万里市南波多町府招 終点：佐賀県伊万里市東山代町長浜		延長：6.6km		
事業概要：国道497号伊万里道路は、唐津伊万里道路や伊万里松浦道路などとともに西九州自動車道の一区間を構成する延長6.6kmの自動車専用道路であり、伊万里市中心市街地の交通混雑の緩和や、物流拠点である伊万里港とのアクセス確保、及び九州北西部の地域振興に寄与するものである。				
H7年度事業化      H18年度都市計画決定      H一年度用地着手      H一年度工事着手				
全体事業費：約249億円    事業進捗率：6%    供用済延長：— km				
計画交通量：20,000～22,000台/日				
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 2.0 (残事業) 2.2	総費用：(残事業)/(事業全体) 165/182億円 (事業費：153/171億円) (維持管理費：11/11億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 367/367億円 (走行時間短縮便益：257/257億円) (走行経費減少便益：57/57億円) (交通事故減少便益：53/53億円)	基準年：平成21年
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.5 (交通量 +10%)    B/C=2.0 (交通量 -10%) 事業費変動：B/C=2.0 (事業費 +10%)    B/C=2.5 (事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=1.9 (事業期間+20%)    B/C=2.6 (事業期間-20%)				
事業の効果等 ①物流効率化の支援 ・伊万里港湾地区と福岡方向を結ぶネットワークが概成し、物流効率化を支援 ・松浦港より出荷される「旬あじ」、「旬さば」の販路拡大、商品価値の向上（約30分短縮） ②地域間交流の支援 ・伊万里地域における高速公共交通サービス水準の向上 ③地域開発計画の支援 ・重要港湾伊万里港へと結ぶアクセス道路と有機的に結合し、港の南側玄関口となることによる、港湾エリアの開発計画の支援 ④安心できる暮らしの支援 ・災害時における信頼性の高い緊急輸送ネットワークの形成（H18年：国道202号が7日間全面通行止め） ・救命救急センターへの搬送時間の短縮（伊万里市－唐津赤十字病院：短縮時間約20分） ⑤交通混雑の緩和 ・国道204号の混雑度の低下（1.33→0.72） ・伊万里市街地の渋滞損失時間の減少（41.6万人時間/年→13.9万人時間/年） ⑥交通安全性の確保 ・周辺道路の交通事故削減（214.4件/億台扣→106.5件/億台扣）				
関係する地方公共団体等の意見 福岡市、唐津市、伊万里市等関係8市8町の首長・議会議長で構成される西九州自動車道建設促進期成会や伊万里市西九州自動車道建設促進期成会（会長：伊万里市長）等より、早期整備の要望を受けている。				
県知事の意見： 佐賀県では、地域や産業の活性化のため、地域間の移動時間や距離を短縮するとともに、予定している時間どおりに移動・輸送ができるようになることを目指しており、このため、県内の主要都市を結ぶ走行性の高い広域幹線道路ネットワークの整備が必要です。 今回、再評価がなされた伊万里道路も広域幹線道路ネットワークを形成する道路となっており、引き続き整備を進めていただくようお願いいたします。				

事業評価監視委員会の意見  
審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等  
臨海部の工業団地への企業進出等により、製造品出荷額や伊万里市への通勤者の増加が著しい。また重要港湾伊万里港のコンテナ取扱量も急激な伸びを見せており、伊万里市の求心力は高まっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等  
平成20年度末の事業進捗率は事業費ベースで約6%であり、今年度より設計協議に着手。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等  
事地元や関係機関との協力体制のもと、事業効果を早期発現できるように、早期に用地買収に着手し工事等の進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等  
・設計において縦断計画の見直し等のコスト縮減に取り組むとともに、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト縮減

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由  
以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



凡例	
西九州自動車道(4車線)	西九州自動車道(2車線)
一般国道	主要地方道
一般県道	その他道路
計画道路	4車線
	2車線



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。